

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	諏訪市	代表者名	諏訪市長 金子ゆかり
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0266-52-4141
担当者役職		担当者氏名	
住所	392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川崎 直也
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	業務スマート化プロジェクトのスタートにあたり、RPA等の知識が乏しい職員が多い中、素人目線でも比較的わかりやすい内容で講演をしていただいた。講演内容はRPA活用を中心とした内容であり、業務スマート化プロジェクトの一部という認識であったが、RPAはあくまで手段の一つであること等、諏訪市で考えているプロジェクト全体的な部分についても講演の中でうまく伝えていただき、事前打ち合わせを顔を合わせて行った意味があったと感じる。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月19日	9時30分	15時30分	120	240
3-2. 派遣場所	会場名	諏訪市役所		最寄駅	上諏訪駅
	所在地	長野県諏訪市高島1-22-30			
	最寄駅からの交通手段	送迎			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	129人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	全庁を挙げて業務スマートプロジェクト(業務効率化から改名)を推進するにあたり、プロジェクトの趣旨、業務スマート化の必要性を全職員に理解してもらう必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	職員研修を受け、職員がプロジェクトの趣旨、業務スマート化の必要性を理解し、その後の作業の取り組みへスムーズに移行できる形。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	10:00~12:00、13:30~15:30の2コマの職員研修会 講演内容は「泉大津市業務改革推進プロジェクト~RPAを活用した業務効率化の取り組み~」	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修会参加職員の意識醸成、プロジェクトへの理解。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修会参加職員の意識醸成、プロジェクトへの理解。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	職員研修を受け、その後の作業の取り組みにあたり、こういった周知の方法や実施形態がよいのか、できる限り職員が取り組みやすい形で工夫しながら実施していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 報告3日目にまとめて記載する。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員の理解を深め、やらされる感がなく職員が必要性を感じながら自主的にプロジェクトに取り組む姿。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	諏訪市	代表者名	諏訪市長 金子ゆかり
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0266-52-4141
担当者役職	主任	担当者氏名	柳平 高佑
		連絡先E-mail	
住所	392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川崎 直也
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	業務スマート化プロジェクトのスタートにあたり、RPA等の知識が乏しい職員が多い中、素人目線でも比較的わかりやすい内容で講演をしていただいた。講演内容はRPA活用を中心とした内容であり、業務スマート化プロジェクトの一部という認識であったが、RPAはあくまで手段の一つであること等、諏訪市で考えているプロジェクト全体的な部分についても講演の中でうまく伝えていただき、事前打ち合わせを顔を合わせて行った意味があったと感じる。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月20日	9時30分	15時30分	120	240
3-2. 派遣場所	会場名	諏訪市役所		最寄駅	上諏訪駅
	所在地	長野県諏訪市高島1-22-30			
	最寄駅からの交通手段	送迎			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	129人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	全庁を挙げて業務スマートプロジェクト(業務効率化から改名)を推進するにあたり、プロジェクトの趣旨、業務スマート化の必要性を全職員に理解してもらう必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員研修を受け、職員がプロジェクトの趣旨、業務スマート化の必要性を理解し、その後の作業の取り組みへスムーズに移行できる形。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	10:00~12:00、13:30~15:30の2コマの職員研修会 講演内容は「泉大津市業務改革推進プロジェクト~RPAを活用した業務効率化の取り組み~」	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	研修会参加職員の意識醸成、プロジェクトへの理解。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 研修会参加職員の意識醸成、プロジェクトへの理解。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	職員研修を受け、その後の作業の取り組みにあたり、こういった周知の方法や実施形態がよいのか、できる限り職員が取り組みやすい形で工夫しながら実施していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演内容及びプロジェクトへの理解度についてアンケートを行った。業務棚卸については予めより必要性を感じていた意見が多かったが、RPAについては講演で紹介した内容でしか理解が追いついていない印象だった。業務棚卸とRPA等の代替手段との関連性や目的をさらに明確にして棚卸を行う必要があるように感じる。(11/28時点のアンケート結果の集計表を添付)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員の理解を深め、やらされる感がなく職員が必要性を感じながら自主的にプロジェクトに取り組む姿。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

